

加須市総合振興計画 基本構想の改訂について

《市民の意見集約について》

議員 市民との協働を市政運営の基本姿勢としています。が、市民の意見集約の経緯についてお伺いします。

総合政策部長 平成26年度に市民意識調査の実施や市政についての話し合いのテーマを「望ましい加須市の未来について」とし、市内20カ所で開催し市民の皆様から意見・要望の聴取を行いました。

平成27年度には、若者の進学、就職などの希望に関する調査を実施し、人口推計や計画の策定に反映しました。

また、各地域を巡回する形でそれぞれテーマを設けて市民会議を合計4回開催したほか、加須市総合振興計画審議会及び加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議を合計6回開催し、様々な立場の皆様から活発な論議をいただきました。

さらに、今年の7月には、

改訂案に対するパブリックコメントを実施いたしました。これらの機会を通じていただいた意見を可能な限り反映しました。



市政についての話し合い

《財政の見直しについて》

議員 総額規模が大きくなっていますが、歳入歳出総額の内容についてお伺いします。

総合政策部長 歳入歳出ともに平成23年度から27年度までの決算額をもとに伸び率などを勘案し、さらに今後見込まれる事業費を推計したものです。

基本構想改訂の概要

(1) 人口推計の見直し

少子化・長寿化の進展に伴い、今後も人口減少が加速度的に進むと予想されることから、昨年度策定した人口ビジョンに基づき見直しを行う。

〔改訂内容〕平成32年における人口

	改訂後	改訂前
推計人口	10万9,000人	11万6,000人
目標人口	10万9,000人	12万人

(2) 財政推計の見直し

過去5年間の決算に基づき、財政推計について見直しを行う。

〔改訂後の普通会計の推計〕

(単位: 億円)

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
歳入	410.2	401.6	396.2	381.5	378.6
歳出	372.7	361.2	366.8	358.3	355.3

(3) 土地利用構想の見直し

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)が県内全線で開通したことや地域住民からの要望等を踏まえ、本市の地域特性を活かした秩序ある整備と発展を推進するため、土地利用構想について見直しを行う。

〔主な改訂内容〕

加須インターチェンジ周辺(農業共生ゾーン ⇒ 工業・産業系ゾーン)

(4) まちづくりの施策の見直し

地域医療支援病院である公的医療機関の誘致や医師及び看護師の確保による地域医療体制の充実など、新たな課題に対応していくため、まちづくりの施策について見直しを行う。



歳出は、改訂前の推計時には無かった臨時福祉給付金などの特殊要因を除き、社会保障費等の伸び率を反映させた結果、総額規模が大きくなったものです。歳入は、新たな工業団地の造成による固定資産税等の増収、地方消費税交付金については平成31年度からの消費税率10%を見込み推計したものです。

《人口減少について》

議員 人口減少に対する考え方を伺います。

市長 様々な分野ごとに市政運営のなかでレベルアップを図り、加須市に住みたいというまちづくりをすすめていくことが基本的なスタンスであり、この考え方で市政を運営していきたいと考えております。今回の改訂では、基本

的な部分はずえにそれぞれの地域が元気になるという観点からその方向をさらに押し上げる、そういう意味で土地利用の見直しや、病院の誘致または医療体制の確保など、今の本市に欠けている部分を補填することで、人口減少等の課題の解決に結びつくと考えております。